

岐阜県 難聴児支援センターだより

Vol. 16

令和7年12月



お子さんのきこえに関する ファミリーセミナー in 土岐市

令和7年7月17日

■セラトピア土岐 13:00~15:30

講話 テーマ:「きこえにくいて こんなこと!」～園や学校での生活を過ごしやすくする工夫～

講師: 岐阜大学教育学部特別支援教育講座 鈴木祥隆先生

荒天が心配される中、無事にファミリーセミナーを実施することができました。お子さんと保護者、保育士さん、放課後等デイサービスの職員の方、土岐市の保健師さん、東濃教育事務所の加納先生、恵那特別支援学校の梅村先生と、多職種にわたって30名の方にご参加いただきました。今までのファミリーセミナーは両耳難聴の方がほとんどでしたが、今回は、参加者の半数の方が、片耳難聴のお子さん、保護者やその支援に関わる方で、どの方もとても熱心な様子でご参加いただけていました。

鈴木先生の講話では、聴覚、視覚両面の情報の入力の視点から、体験を通して、参加者の皆さんに聞こえにくさを実感してもらいました。荒い情報(不明瞭だったり、一部分の情報だったり)を提示されて、それが何を示しているのかを理解できた時の、参加者の方々の「ああ!」というどよめきや納得の声がたくさん聞かれていました。その上で、お子さんの聞こえの特徴を知って、どのようにアプローチしていくかを鈴木先生からお話いただきました。

講話後は交流会の予定でしたが、人数も多いということで、会場で予め書いていただいた質問等に鈴木先生にお答えいただき、皆さんで共有する形で行いました。短い時間でしたが、お互いのお悩みを聞けたり、年齢が上のお子さんの保護者の経験談を聞けたりと、交流することができました。

音声なしで伝え合うのは
難しいですね



お子さんのきこえに関する ファミリーセミナー in 高山市

令和7年10月1日

■高山市民文化会館 13:00~14:30

講話 テーマ: 聴覚管理と補聴機器

講師: 岐阜大学医学部附属病院 言語聴覚士

難聴児支援センターアドバイザー 森林隆介氏

お子さん2名(幼児1名、小学生1名)、保護者5名、高山市の保健師さん3名、小学校の先生1名、保育士さん1名、飛騨特別支援学校の河原先生に参加していただきました。森林言語聴覚士から、聴覚の基礎的な内容や補聴機器についての講話がありました。実際に補聴援助システムを難聴児支援センターから持って行っていたので、わずかな休憩時間に、興味をもって体験していただいた方も何名かみえました。ざわついた場所での距離のある話し声がよく聞き取れることに驚いてみえました。

交流会では、補聴器機を付け始めのお子さんの保護者からは、補聴器を嫌がりなかなか付けられないとの悩みがあり、それに対して、お子さんの年齢が上で補聴器の装用が定着している保護者の方の体験談やアドバイスを聞くことができました。軽中等度の難聴のお子さんの場合、友達関係の課題等が出てくる場合があり、飛騨特別支援学校の河原先生より、本人ができることと仲間が協力すると良いことを関わる人みんなで考えていくと良いとのお話がありました。また、森林言語聴覚士から、聞き取れなかったり、困った時に聞きやすい「相棒」的な存在の友達ができると良いなどのアドバイスがありました。

参加者の方々からは、また、セミナーがあれば参加したいとお声もいただき、有意義な時間になったようです。



聴力検査について、分かりやすい説明でした



保護者さん同士の交流ができてありがたいです



片耳難聴のリーフレットをご活用ください

当センターにご相談いただく件数の約3分の1が片耳難聴に関してのご相談です。新生児聴覚スクリーニング検査で片耳リファアとなり、2次医療機関や精密医療機関で片耳難聴と確定された後、片耳難聴とはどういうことなのか、どうしたらよいか考えたり、悩まれたりするケースがあります。また、就学時健診、学校での聴力検査の結果で、片耳難聴を疑われたり、園や学校の先生から「もしかしら、片耳が聞こえていないのでは…」と言われて検査したというケースもあります。

ほとんどの方が地元の園や学校に通っているので、「相談先がない」などの悩みも聞きます。「困っているけれど、どうしたらよいか分からない」とか、「周りの人に理解してもらいたいが、どう伝えたらいいのか分からない」という方の少しでも助けになるように、片耳難聴のリーフレットを作成しました。県内の耳鼻科に置いていただいているので、気軽に手に取っていただけるとありがたいです。片耳難聴のリーフレットをご希望の方は、当センターにお問い合わせください。



岐阜大学医学部附属病院 難聴児支援センター・ご利用案内

ご利用方法

■ きこえの相談窓口【月～金 10:00～16:00】

メール、FAXでの相談は随時
対応させていただきます。(無料)
LINEでもご相談いただけます。▶



■ 「きこえの相談日」は毎週火曜日 10:00～16:00

事前にセンターまでご連絡をお願いします。(無料)
センタースタッフが対応いたします。

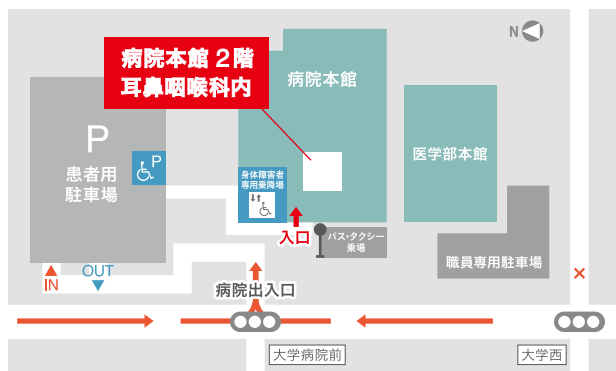
岐阜大学医学部附属病院 難聴児支援センターの場所

岐阜大学医学部附属病院本館 2階
耳鼻咽喉科内



※お越しの際は、岐阜大学医学部附属病院本館1階総合受付にお声掛けください。

※急なご来院の際、相談室にスタッフが不在の場合は、外線等で難聴児支援センター事務室にご連絡ください。
電話番号 058-230-6198



交通アクセス・病院へのアクセス



●鉄道

【JR】
東海道本線「岐阜駅」で下車
【名古屋鉄道】
名鉄本線「名鉄岐阜駅」で下車

●バス

JR岐阜 名鉄岐阜	岐阜大学・病院線	／約30分	岐阜大学 病院下車 料金 (400円)
	直行便 清流ライナー	／約25分	
	岐南町線	／約40分	

発行：岐阜大学医学部附属病院

〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸1番1
TEL 058-230-6198 FAX 058-230-6199

<https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/origin/gifu-deaf-center/>
E-mail: g_nantyo@t.gifu-u.ac.jp